

“継承”

住む シリーズ 5

イザヤ書 58:13-14

演者: アレックス・ レッスラー

初め: ‘敬称’ - 募集 / 発表

多くの場合、これがサービスのポイントとなり、バケツを渡してサービスを続行します。それは私たちが礼拝として行っていることの一部ですが、時には立ち止まって、私たちがここで何をしているのか、そしてなぜそれを行うのかについて話すことは私たちにとって重要です。

徹底的な寛大さ

神は寛大です。根本的にそうです。福音の中心的なメッセージは、聖書の中で最もよく知られている聖句の一つに要約されています

“神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。”
ヨハネによる福音書 3:16-17 口語訳

“彼が与えた”

「与える」という言葉はギリシャ語でよく使われる言葉です。新約聖書には400回以上登場します。やったね
親は子供に何かを「与える」のです。
配偶者は大切な人に愛を「与えます」。
上司は従業員に給料を「与えます」。
マタイ 4 章で、サタンは、もしイエスがただひれ伏すなら、この世のすべての王国とその栄光をイエスに「与える」と約束しています。
しかし、神は「与える」こともあります。そして、犠牲を払って喜んで自分自身に与えることほど素晴らしい贈り物はありません。

“信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもちとわなないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。”

ヘブル人への手紙 12:2 口語訳

私たちがよく話す真実の一つは、私たちは神の似姿に造られたということです。彼のように作られました。つまり、私たちの本当の自分とは、彼の設計に従って生きているときなのです。

パウロはピリピ人への手紙 2 章でこのことを強調しています。イエスは、私たちが救われるために、本来神に備わっているすべての力と権威を用いて、ご自身を無にして

(文字通り、自分自身のすべてを捨てて)くださいました。そして彼はこう言います、「キリスト・イエスと同じ態度(考え方)を持ちなさい。」

したがって、イエスに従う者として、私たちも徹底的な寛大さを求められています。これは私たちの生活の一部であるだけでなく、私たちの生活のすべてを定義します。

オーナーではなくスチュワード

私たちが守るもう1つの真実は、私たちが持っているものはすべて実際には私たちのものではないということです。私たちが持っているものはすべて神の贈り物です。それは私たちが何もして得たものではなく、受けるに値しない贈り物でした。結局のところ、それが恵みの意味なのです。

永遠の命という神の無償の賜物は、神への信頼によって得られる恵みの賜物です。ですから、私たちは恵みの民なのです。これは、私たちが与えられたものについての考え方を根本的に変えます。 **恵みは私たちの寛大さを喜びに向けます。**

新約聖書は、私たちがまったく異なる現実の一部として生きていることを教えています。

私たちは天の豊富な資源にアクセスできます。ですから、私たちは恵みを惜しみなく与えてくださる神の延長として惜しみなく与えます。これが私たちの集まりの通常の一部である理由です。それは肉体的な礼拝行為です。それは、イエス以外の誰も、何も私たちの究極の忠誠を持っていないという宣言です。

これは、私たちの備えが給料、雇用主、政府、株式市場、退職金、または私たちの努力ではなく、天の御父から来ていることを宣言するものであるため、信仰の行為です。神は私たちに毎日の糧を与えてくださる方です。

お金やあらゆる経済システムが私たちに対して影響力を持っていると宣言するには、根本的に寛大になることほど強力なものはありません。

新約聖書の教えは、惜しみなく与えること、

- 1.) 寄付の結果をコントロールしたいという願望を持って寄付しないでください。
- 2.) 何かを得た場合にのみ寄付するのではなく(実際には、返済できない人に寄付する)
- 3.) 収入に比例して寄付する
- 4.) 定期的かつ頻繁に与えること(右手がしていることを左手に知らせないでください)
- 5.) 屋根の上から自分がどれほど慈悲深いかを宣言せずに、秘密で与えること。

イエスは実際、自分の使命を遂行するために「あなたの」お金を必要としません。彼

はあなたの心を望んでいます。そして彼はお金が恐ろしい主人であることを知っています。彼自身の言葉を借りれば、「二人の主人を持つことはできない。神とお金に仕えることはできない。」徹底的に寛大な人生の結果でしょうか？それが何であるか知っていますか？喜び。イエスは喜びを望んでいます。

だからこそ、私たちは典礼の一環として献金を行っているのです。それはここで起こるすべての実際的な出来事と結びついており、ミッションへの資金提供にも役立ちますが、最終的には信頼と忠誠の行為であり、私たちの生活における神の力の表れでもあります。

私たちは経済的手段による支配と統制の壊れたシステムの奴隷ではありません。私たちは宇宙の創造主の自由の子供であり、私たちのニーズを満たし、この壊れた世界を癒すために私たちを通して働いてくれる無限の資源を持っています。
案内係、降りてもいいよ。

オンラインで捧げることもできます - <https://b4church.churchcenter.com/giving> Prayer
お知らせ

あなたが提供したリソースが、福音と感謝祭のフードボックスの活動に使われる具体的な方法の1つ

今年、私たちはコミュニティの 200 以上の家族と祝福を分かち合う機会を得ました。フードボックス + 七面鳥、感謝祭のディナーに必要なものすべてをご用意しています。10月29日から11月19日までの日曜日に寄付を持ち込むことができます。コモンズに回収テーブルを設置します。買い物リストとボランティアの機会（仕分け、梱包、配布）については、[b4church.org/ thanksgiving](https://b4church.org/thanksgiving) をご覧ください。

動き 1: “継承” 初め

[このようなメールを受け取ったことがありますか？](#)

Date: Sun, 3 Jun 2018 04:53:01 -0700
From: "ATM ZENITH BANK"<aaaa@0oo.kr>
Reply-to: <philipuku11@gmail.com>
To:
Subject: Immediate Payment Of Your Fund

Charset windows-1251 *

Dated: 01/06/18.

Attn: Beneficiary.

This is to officially inform you that we have verified your contract/inheritance fund file and found out that you have not received your fund us\$12.5m.

You will receive it through ATM CARD, forward your name,address and direct telephone number.

Regards,
Mr.Philip Uku.
Atm Manager Zenith Bank

「あなたには相続財産があります」これを詐欺といいます。フィッシングメールです。もしあなたがまだ知らなかったとしたら、あるいは、あまりにもうすぎる話のように聞こえるかもしれませんが、少なくとも福音のあらゆる側面において、それは次のとおりです。:)

私の説教のタイトルは「相続」ですが、実際にはこの種の相続に関するものではありません。私たちはイザヤ書 58 章まで続いてきた「滞留」シリーズを続けています。今日でイザヤ書 58 章の部分を終わります (そして今後 3 週間、次のようなシリーズから生じるいくつかの質問を検討していきます)これ)。

しかし今日は、キリストにおける私たちの「相続」に注目してみましょう。

イザヤ書 58:13

“もし安息日にあなたの足をとどめ、わが聖日にあなたの楽しみをなさず、安息日を喜びの日と呼び、主の聖日を尊ぶべき日となえ、これを尊んで、おのが道を行わず、おのが楽しみを求めず、むなしい言葉を語らないならば、その時あなたは主によって喜びを得、わたしは、あなたに地の高い所を乗り通らせ、あなたの先祖ヤコブの嗣業をもって、あなたを養う」。これは主の口から語られたものである。”

イザヤ書 58:13-14 口語訳

“父ヤコブの相続財産をごちそうしてください。”

動き 2: 抵抗の中で休む

“断食の習慣と同様に、安息日は自己否定と崇拝の表現であることを意図していました。それは、主を喜び、仕事を避けながら自分の必要を満たしてくださると信頼し、

主の御心に従って生きることから成ります。”

彼の預言的な活動の初期に…

“主はこう言われる、「あなたがたは公平を守って正義を行え。 わが救の来るのは近く、 わが助けのあらわれるのが近いからだ。 安息日を守って、これを汚さず、 その手をおさえて、悪しき事をせず、 このように行う人、 これを堅く守る人の子はさ いわいである」。”

イザヤ書 56:1-2 口語訳

安息日とは何ですか？ 安息日のアイデアは創造アカウントから来ています。 神は6日目に人類を創造し、7日目に休む。安息日は休みの日です。神は創造のサイクルの一部としてそれを創造しました。

彼は6日間働き、7日に仕事を休んだ。人文科学の存在の初日は仕事ではありません。それは休息です。レクリエーション。楽しみ。 “私たちはまず人間であって、人間が行うことではありません。” これは全人類のために作られたリズムです。

聖書の残りの部分を通して、安息日は神の民であることの意味の重要な部分となります。特にイスラエル。

毎週の定期的な安息日を守るようにという命令があります。

地球自体を安息日とすることについての命令があります。

安息日の教えを記念するパーティー、祭り、祝賀会についての命令があります。特にジュビリー。

ヨベル - 第7安息年 (50年) ごとに起こり、経済、文化、環境、共同体のリセットが行われ、土地と人々が休息し、奴隷状態にあったすべての人々が解放されてコミュニティに戻ります。

“安息日を聖く保つ”ことは十戒の一部です。

しかし、イスラエルの使命は、創造主が意図した真の人間とは何かを世界に代表することであったことを思い出してください。つまり、安息日は単なるユダヤ人の習慣ではなく (実際そうでした)、この世の権力者にとって、人間らしくあるための別のより真の方法があるという革命的な兆候でした。

覚えておいてください…イザヤ書 58 章では、イスラエルは陰謀の糸口を失っています。彼らは自分たちの使命を忘れてしまったのです。彼らは死んだ宗教の空虚な動きを経験しており、神は彼らに目覚めを呼び掛けています。

安息日は単なる宗教運動ではありません。

休息は、この世界の闇の力に対する強力な抵抗です。

それは、宇宙の玉座に真の王、イエスがいるということを世界に知らせます。そして私の忠誠は何よりも神に対するものです。

経済的資源を提供することが私たちの信頼を表明するのと同じように、休息の日も同様です。それは、私たちではなく、神が私たちの提供者であることを世界に宣言します。確かに、もう1日余分に働くこともできますが、そのような生活では最終的には疲弊してしまうと考えられています。

私たちには限界があります！（私は自分の限界が大嫌いです…でも、安息日は私にその限界を受け入れさせてくれます。自分が神ではないことを思い出させます。私は私です。これは、安息日のさらなる仕事に「イエス」と言う物語です。私はまだ学習中です。私の考えから学びましょう。間違い。）



そして、私たちは仕事という意味では「生産的」になるかもしれませんが、神が6日間の従順の努力を増幅してくださると信じており、私たちの生活の方向を自分のリズムではなく神のリズムに合わせるようになります。

それで...

“休息は抵抗です”

BUT... also...

“残りは私たちの相続物です”

動き 3: 継承で休む

第一次世界大戦の停戦 - 地上の天国の瞬間 - なぜ私たちは戦っているのでしょうか？



“その時あなたは主によって喜びを得、わたしは、あなたに地の高い所を乗り通らせ、あなたの先祖ヤコブの嗣業をもって、あなたを養う」。これは主の口から語られたものである。”

イザヤ書 58:14 口語訳

あなたの先祖ヤコブに約束した相続財産: 約束された相続財産には、聖地で多くの子孫とともに暮らし、神の臨在、祝福、保護を享受することが含まれます。

しかし、それはさらに何かを示唆していました。聖書では、仕事は神からの贈り物です。それは罪の前に私たちに与えられました。それは良いことです。そして、皆さんの多くは、自分の仕事が本当に大好きなので、私が何を言っているのか分かっています。そこには、あなたを生き生きとさせ、目的があるように感じさせる何かがあります。あなた方の中には、人生の中で仕事を楽しんでいないので、私の言いたいことが分かる人もいるでしょう。あなたには全体像や目的が欠けていますが、それは仕事が悪いという意味ではありません。

仕事は良いものであり、神からの贈り物です。

それは永遠であり、神がこの地球をきっぱりと新しくするとき、私たちにはまだなすべき仕事が残っています。1万年間ハープを演奏するなんてナンセンスなことは忘れてください。やるべきことがある！作るもの。探検する惑星。

けれど、

労働における労苦は罪の呪いの一部です。

労苦とは、働いても成果が出ないことです。作物を植えても雑草に覆われてしまい、労力の割には何も得られないときです。

そして、それは罪の呪いの影響であるため、きっぱりと処理されます。だからこそパウロはこう言えるのです、

“だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあつては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである。”

コリント人への第一の手紙 15:58 口語訳

天の御国では、あなたの働きは決して無駄にはなりません。

あなたの遺産について書かれた手紙があります (フィッシングメールではありません)。 本当だとするにはうますぎるように聞こえるかもしれませんが、これはルールの唯一の例外です。これは、あなたが尋ねたり想像したりするよりも優れています。

“御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さい。もし子であれば、相続人でもある。神の相続人であつて、キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている以上、キリストと共同の相続人なのである。わたしは思う。今のこの時の苦しきは、やがてわたしたちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。”

ローマ人への手紙 8:16-18 口語訳

「彼の苦しみを分かち合ってください」それは、まさにそのことを経験している私たちを慰めることです。私たちも「彼の栄光を分かち合います」。

揭示と将来の希望

黙示録の著者は、終末を解釈するために使用される秘密のコードを書いていません。彼は、同時代人になじみのあるジャンルとスタイルで、本当の苦しみに直面している現実の人々に向けて書いています。彼のメッセージは、私たちが将来受け継ぐ希望を持ちながら、日々の試練や艱難をどのように耐え忍ぶかということです。

これは彼らにとって慰めとなるでしょうが、私たち全員にとっても慰めとなるでしょう。いつか神が来て、すべてを正してくださるでしょう。

ヨハネの黙示録 7-

“その後、わたしが見てみると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、大声で叫んで言った、「救は、御座にいますわれらの神と小羊からきたる」。御使たちはみな、御座と長老たちと四つの生き物とのまわりに立っていたが、御座の前にひれ伏し、神を拝して言った、「アアメン、さんび、栄光、知恵、感謝、ほまれ、力、勢いが、世々限りなく、われらの神にあるように、アアメン」。長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおつてきた人たちであつて、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであ

ろう。彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいとって下さるであろう」。

ヨハネの黙示録 7:9-17 口語訳

おそらく大患難の時が来るのでしょうか。それは議論されています。議論されていないのは、この人生のほとんどが大患難であるということです。この壊れた世界における私たちの存在。

未来の栄光の継承？

「彼らは二度と飢えることはありません。喉の渇き...など」

黙示録の後半で

“すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしはすべてのものを新たに作る」。また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである」。

ヨハネの黙示録 21:5 口語訳

この壊れた世界からの安息は私たちの遺産です。

そこにいるのは誰ですか？

“その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、”

ヨハネの黙示録 7:9 口語訳

休息は全人類のための設計だった。

休息はこの世界の闇の力に対する抵抗です

そして、イエスを信頼する私たち全員と一緒に経験するで

しょう... 私たちの遺産として休んでください。

返事: 多分かの祈りへの応答

各大陸からの祈り（南極ではない…ペンギンは手に入らなかった）
私たちの応答の一部は、いつか完全になることを今祝うことです。繰り返しになりますが、これが私たちが多文化フェスティバルを行う理由です

「私たちの祝賀会には各国が代表されています。世界中の神の創造物、神の民を通して神が示されるのを見てください。」